

## Ⅱ 結果の内容

## 《災害に関する情報の入手方法について》

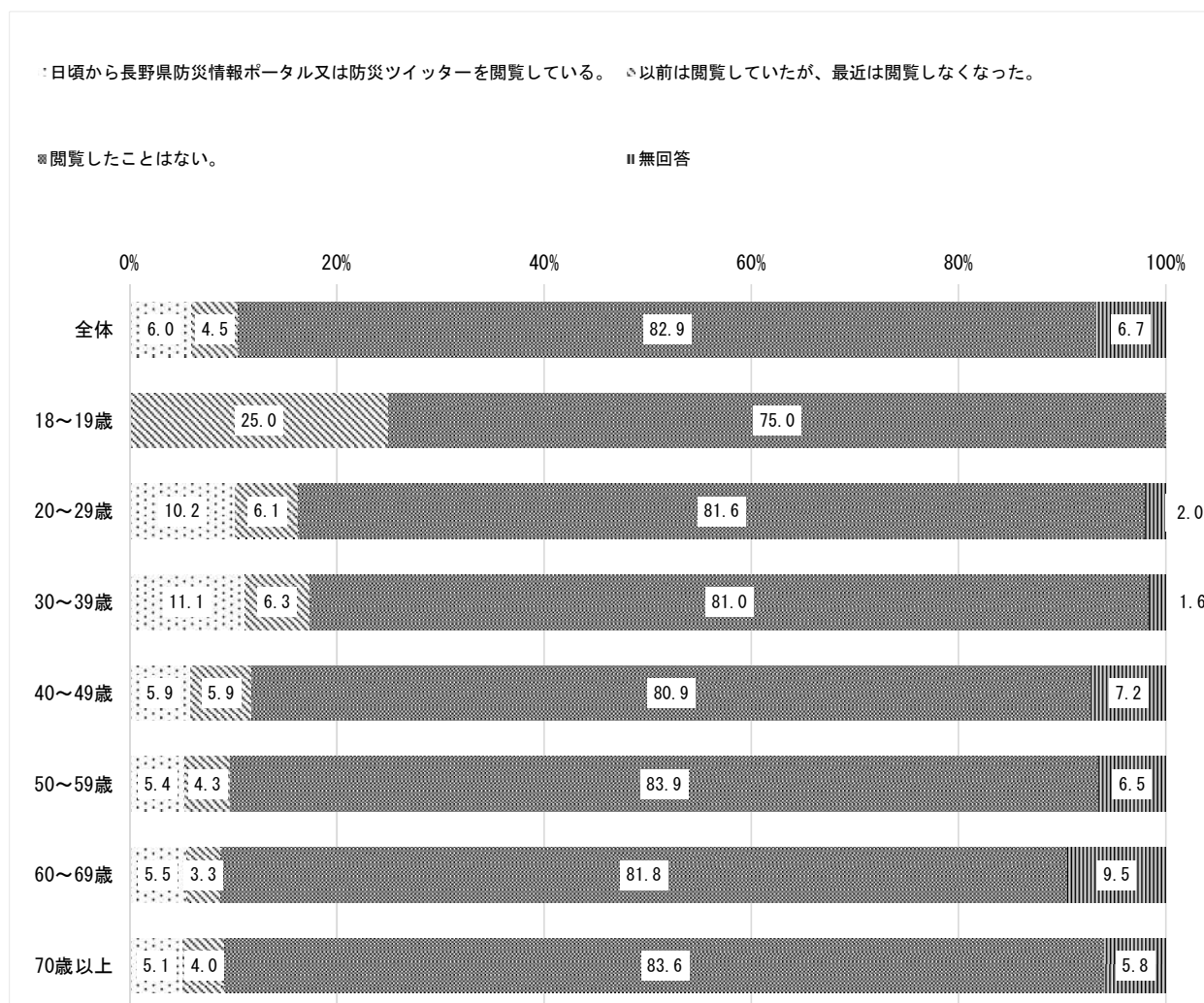
＜長野県防災情報ポータル及び防災ツイッターの閲覧状況＞  
「閲覧したことはない」が8割超

問1

県では、パソコンやスマートフォンを利用して、長野県防災情報ポータル及び防災情報専用ツイッター『長野県防災』（以下「防災ツイッター」）により情報を発信しています。閲覧状況をお答えください。（○は1つ）

	n=1,006	回答数 (人)	割合 (%)
日頃から長野県防災情報ポータル又は防災ツイッターを閲覧している		60	6.0
以前は閲覧していたが、最近では閲覧しなくなった		45	4.5
閲覧したことはない		834	82.9
無回答		67	6.7

●「閲覧したことはない」が82.9%と最も多い。年代別では、18～19歳を除く年代で、「日頃から閲覧している」、「以前は閲覧していた」の合計が2割未満となっている。



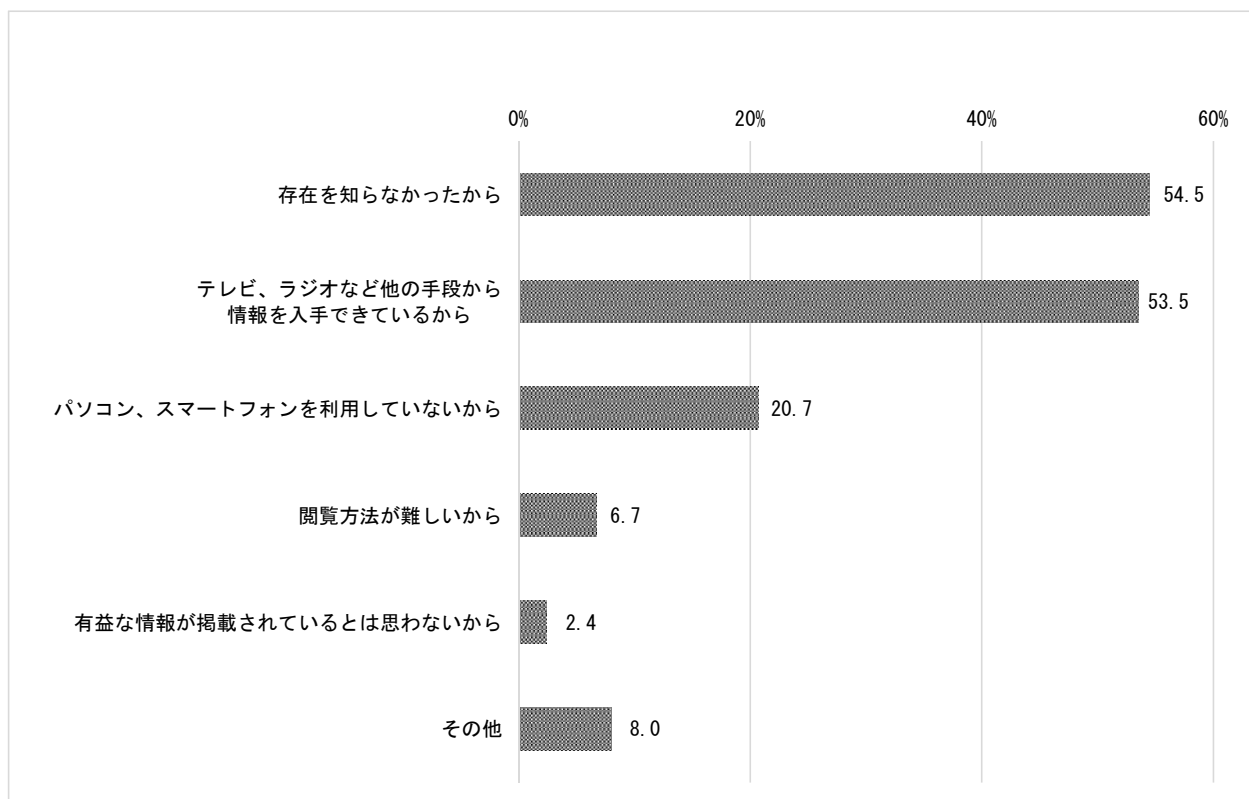
＜長野県防災情報ポータル及び防災ツイッターを閲覧していない理由＞

「存在を知らなかったから」と「テレビ、ラジオなど他の手段から情報を入手できているから」がいずれも5割超

問2 長野県防災情報ポータル又は防災ツイッターを現在閲覧していない方にお伺いします。閲覧していない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

	回答数 (人)	割合 (%)
	n=879	
存在を知らなかったから	479	54.5
テレビ、ラジオなど他の手段から情報を入手できているから	470	53.5
パソコン、スマートフォンを利用していないから	182	20.7
閲覧方法が難しいから	59	6.7
有益な情報が掲載されているとは思わないから	21	2.4
その他	70	8.0
無回答	10	1.1

●「存在を知らなかったから」が54.5%、次いで「テレビ、ラジオなど他の手段から情報を入手できているから」が53.5%となっている。



その他としては「防災アプリを使用」、「今のところ災害に見舞われていない」、「市の登録制メールから入手」等の回答が見られた。

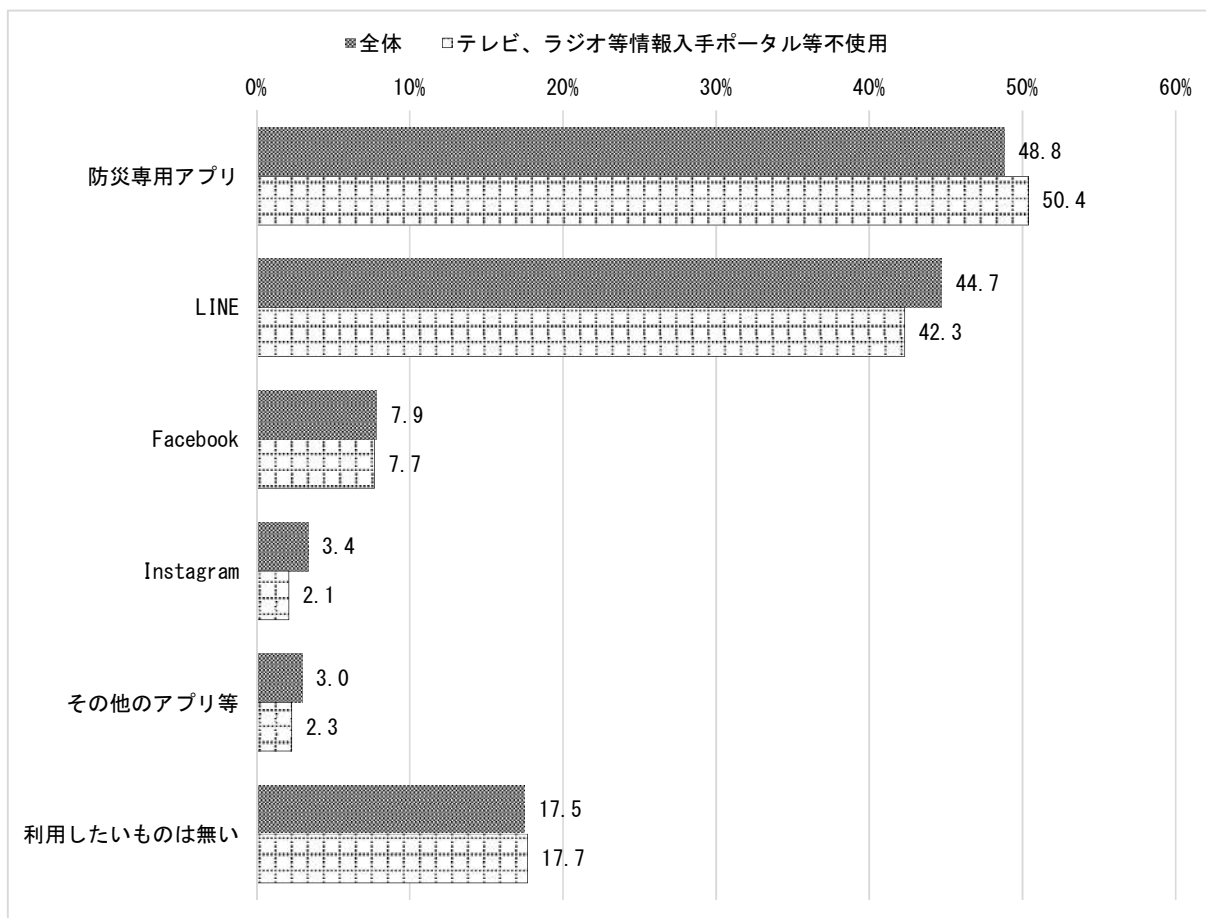
＜災害情報等を受信する際に使用したいツール＞  
 「防災専用アプリ」が約5割、「LINE」が4割超、「利用したいものは無い」が約2割

問3 県では、今後、スマートフォンやパソコンの通知機能等を利用した情報発信の強化を検討しております。次の中で利用したいものをお答えください。(〇はいくつでも。)

	n=1,006		テレビ、ラジオ等情報入手ポータル等不使用※ n=470	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
防災専用アプリ	491	48.8	237	50.4
LINE	450	44.7	199	42.3
Facebook	79	7.9	36	7.7
Instagram	34	3.4	10	2.1
その他のアプリ等	30	3	11	2.3
利用したいものは無い	176	17.5	83	17.7
無回答	66	6.6	36	7.7

※問2において、テレビ、ラジオなど他の手段から情報を入力できているから長野県防災情報ポータル及び防災ツイッターを閲覧していないと答えた者

●「防災専用アプリ」が48.8%、次いで「LINE」が44.7%となった。他の手段は全体の1割未満。「利用したいものは無い」も17.5%となった。



その他としては「登録制メール」、「緊急速報メール」等の回答が見られた。

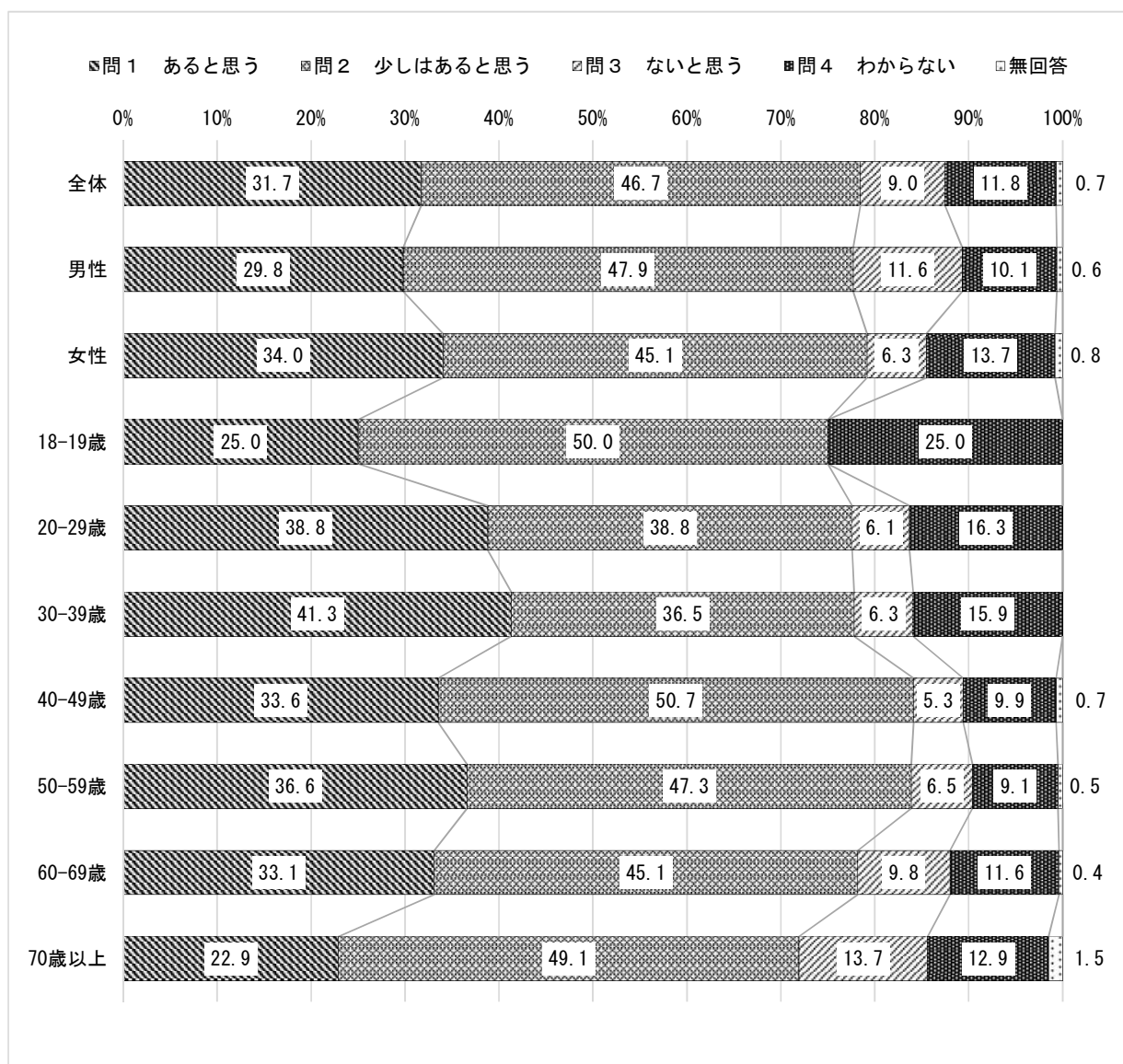
## 《共生社会の実現に向けた施策等について》

＜障がいを理由とした差別や配慮に欠けている点の有無＞  
「あると思う」と「少しはあると思う」が合わせて約8割

問4 現在、障がいのある方に対して障がいを理由とする差別や配慮に欠けている点があると思いますか。  
(○は一つ)

	n= 1,006	回答数 (人)	割合 (%)
あると思う		319	31.7
少しはあると思う		470	46.7
ないと思う		91	9.0
わからない		119	11.8
無回答		7	0.7

●「あると思う」(31.7%)、「少しはあると思う」(46.7%)を合わせると78.4%となっている。年代別でみると、70歳以上を除く年代で、「あると思う」、「少しはあると思う」を合わせると約8割となっている。



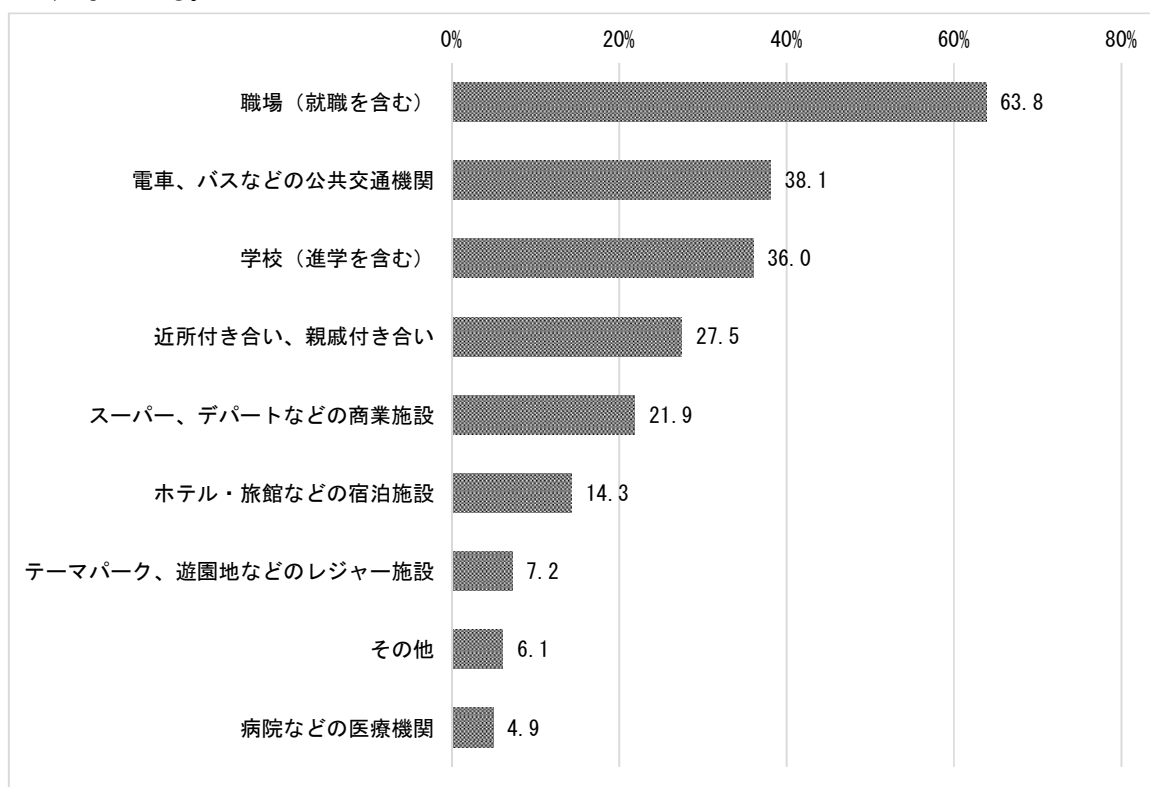
<差別や配慮不足と感じる場面・事由>

「職場(就職を含む)」が6割超、「電車、バスなどの公共交通機関」と「学校(進学を含む)」がいずれも約4割

問5 問4で「あると思う」または「少しはあると思う」を選ばれた方にお伺いします。それは具体的にどのような場面や事由で、差別や配慮に欠けている点があると思われましたか。(〇は3つまで)

	回答数	割合
	(人)	(%)
	n= 789	
職場(就職を含む)	503	63.8
電車、バスなどの公共交通機関	301	38.1
学校(進学を含む)	284	36.0
近所付き合い、親戚付き合い	217	27.5
スーパー、デパートなどの商業施設	173	21.9
ホテル・旅館などの宿泊施設	113	14.3
テーマパーク、遊園地などのレジャー施設	57	7.2
その他	48	6.1
病院などの医療機関	39	4.9
無回答	30	3.8

●「職場(就職を含む)」が63.8%と最も多く、次いで「電車、バスなどの公共交通機関」(38.2%)、「学校(進学を含む)」(36.0%)となっている。



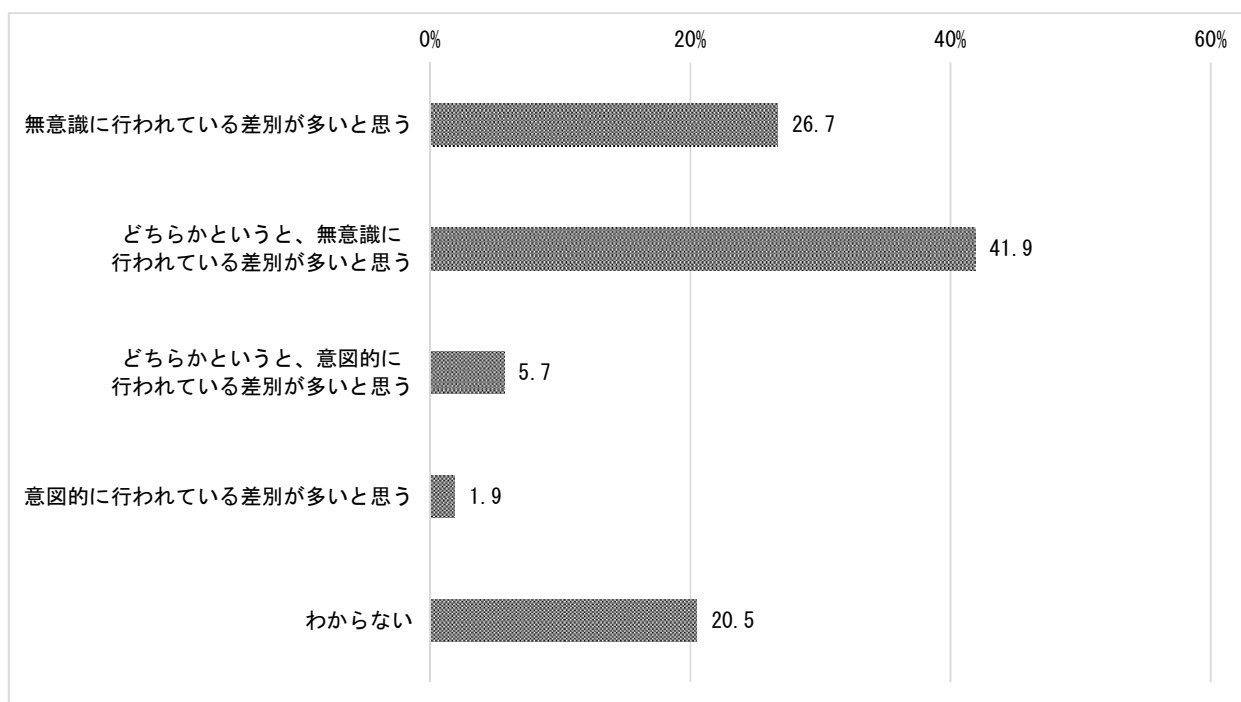
その他としては、「外見から分かる障がいに対しては、社会の理解も進んできたと思われるが、外見からは分からない内部障がいなどについては、まだ不十分と思われる。」、「心理的、性的な差別においての配慮があまりされていない。」等の回答が見られた。

＜差別を行っている人の意識＞  
 「無意識に行われている差別が多いと思う」と「どちらかという、無意識に行われている差別が多いと思う」  
 が合わせて約7割

問6 問4で「ないと思う」または「わからない」を選ばれた方にお伺いします。障がいを理由とする差別が行われている場合、差別を行っている人の意識についてどう思いますか。(○は1つ)

	n= 210	回答数 (人)	割合 (%)
無意識に行われている差別が多いと思う		56	26.7
どちらかという、無意識に行われている差別が多いと思う		88	41.9
どちらかという、意図的に行われている差別が多いと思う		12	5.7
意図的に行われている差別が多いと思う		4	1.9
わからない		43	20.5
無回答		7	3.3

●「無意識に行われている差別が多いと思う」(26.7%)と「どちらかという、無意識に行われている差別が多いと思う」(41.9%)を合わせると68.6%となっている。



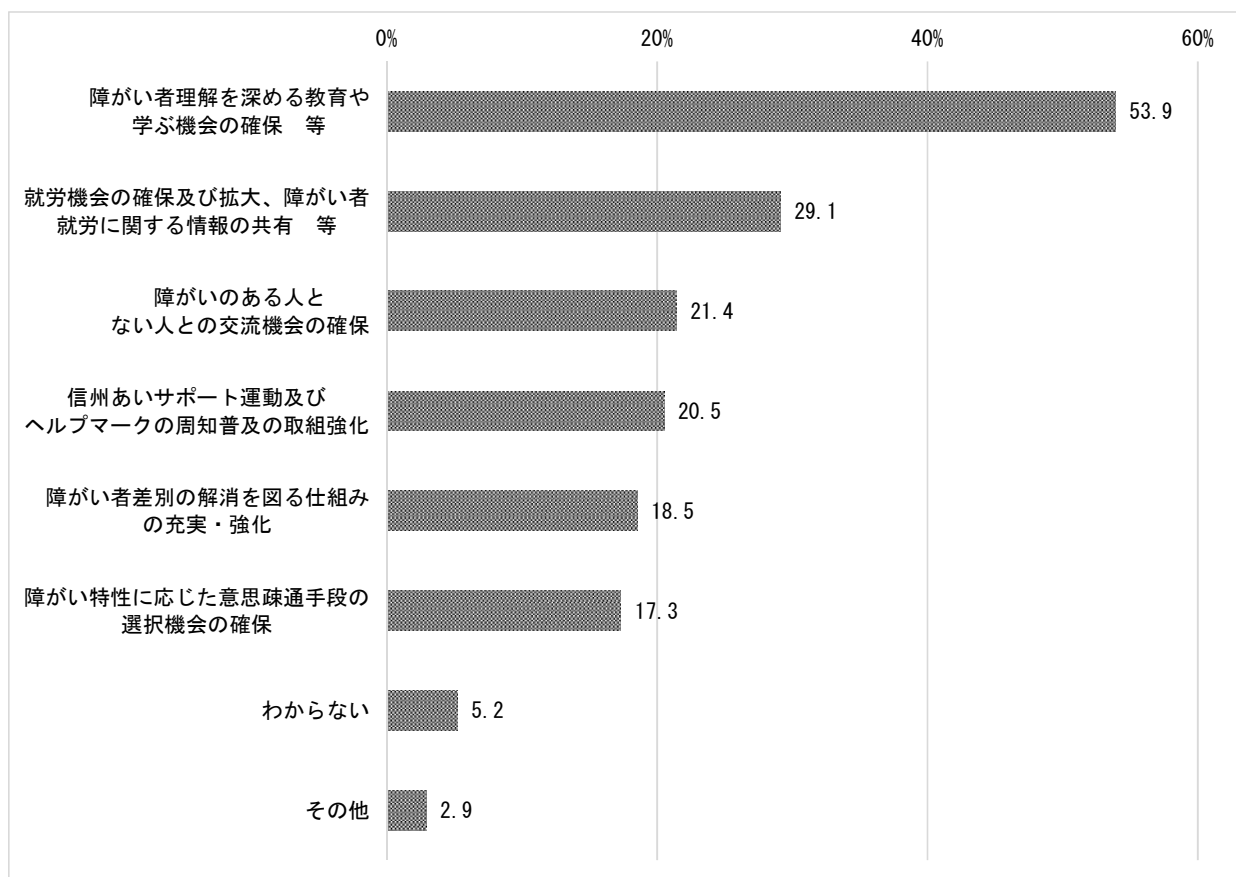
＜障がい者への差別や配慮不足をなくしていくために必要な施策＞

「障がい者理解を深める教育や学ぶ機会の確保 等」が5割超、「就労機会の確保及び拡大、障がい者就労に関する情報の共有 等」が約3割

問7 障がいのある方への障がいを理由とする差別があった場合、差別や配慮不足をなくしていくためにどのような施策が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 1,006		
障がい者理解を深める教育や学ぶ機会の確保 等	542	53.9
就労機会の確保及び拡大、障がい者就労に関する情報の共有 等	293	29.1
障がいのある人とない人との交流機会の確保	215	21.4
信州あいサポート運動及びヘルプマークの周知普及の取組強化	206	20.5
障がい者差別の解消を図る仕組み(あっせん、勧告等)の充実・強化	186	18.5
障がい特性に応じた意思疎通(手話・点字・字幕放送等)手段の選択機会の確保	174	17.3
わからない	52	5.2
その他	29	2.9
無回答	20	2.0

●「障がい者理解を深める教育や学ぶ機会の確保 等」が53.9%と最も高く、次に「就労機会の確保及び拡大、障がい者就労に関する情報の共有 等」(29.1%)となっている。



その他としては「社会全体が多様性を認め合えるような意識改革が必要」、「障がい者として決めつけず、普通の人間として当たり前の生活を一緒にしていくことが望ましい」、「職場において共に働く仲間の悩みや相談等、話を聞いてくれる機会が少ないと思う」等の回答が見られた。

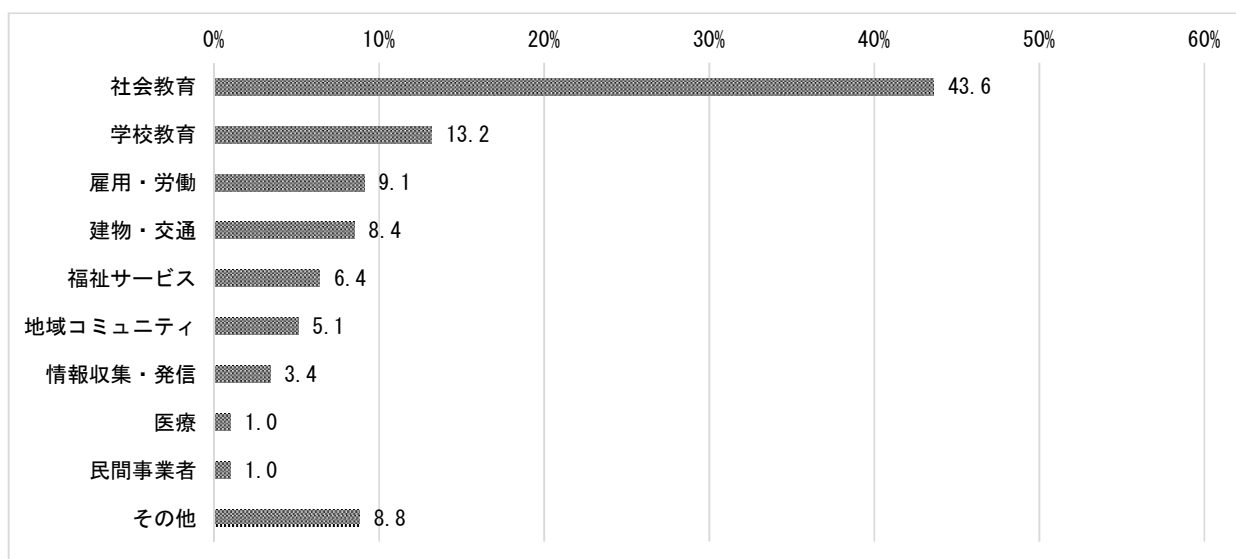


＜共生社会実現のために必要なこと＞  
「社会教育」が4割超、「学校教育」が1割超

問8 その他、障がい者との共生社会づくり実現のために何が必要かご意見がありましたら、お聞かせください。  
(自由記載)

	n= 296	回答数 (人)	割合 (%)
<b>社会教育</b> 障がい者と触れ合い、交流できる機会を増やす 等		129	43.6
<b>学校教育</b> 低学年の時から共生や人権の学習が必要 等		39	13.2
<b>雇用・労働</b> 障がい者ができる作業に共同で取り組み、相互理解を深めていくこと 等		27	9.1
<b>建物・交通</b> 駐車場の障がい者スペースへの健常者の駐車を取り締まる 等		25	8.4
<b>福祉サービス</b> 家族や支援者へのサポート、支援体制の充実 等		19	6.4
<b>地域コミュニティ</b> 障がい者が地域に住める環境づくりが必要 等		15	5.1
<b>障がい者からの情報収集・発信等</b> 障がい者自身がどうしてほしいかという情報が欲しい 等		10	3.4
<b>医療</b> 心の病の場合、何でも病気にしてしまうことが解決策にならない 等		3	1.0
<b>民間事業者</b> 民間事業者の取組を行政がもっと応援すべき 等		3	1.0
<b>その他</b> 障がいを隠さない、個性の一つ 等		26	8.8

●「社会教育」が43.6%で最も多く、次いで「学校教育」が13.2%、「雇用・労働」が9.1%で第3位となっている。



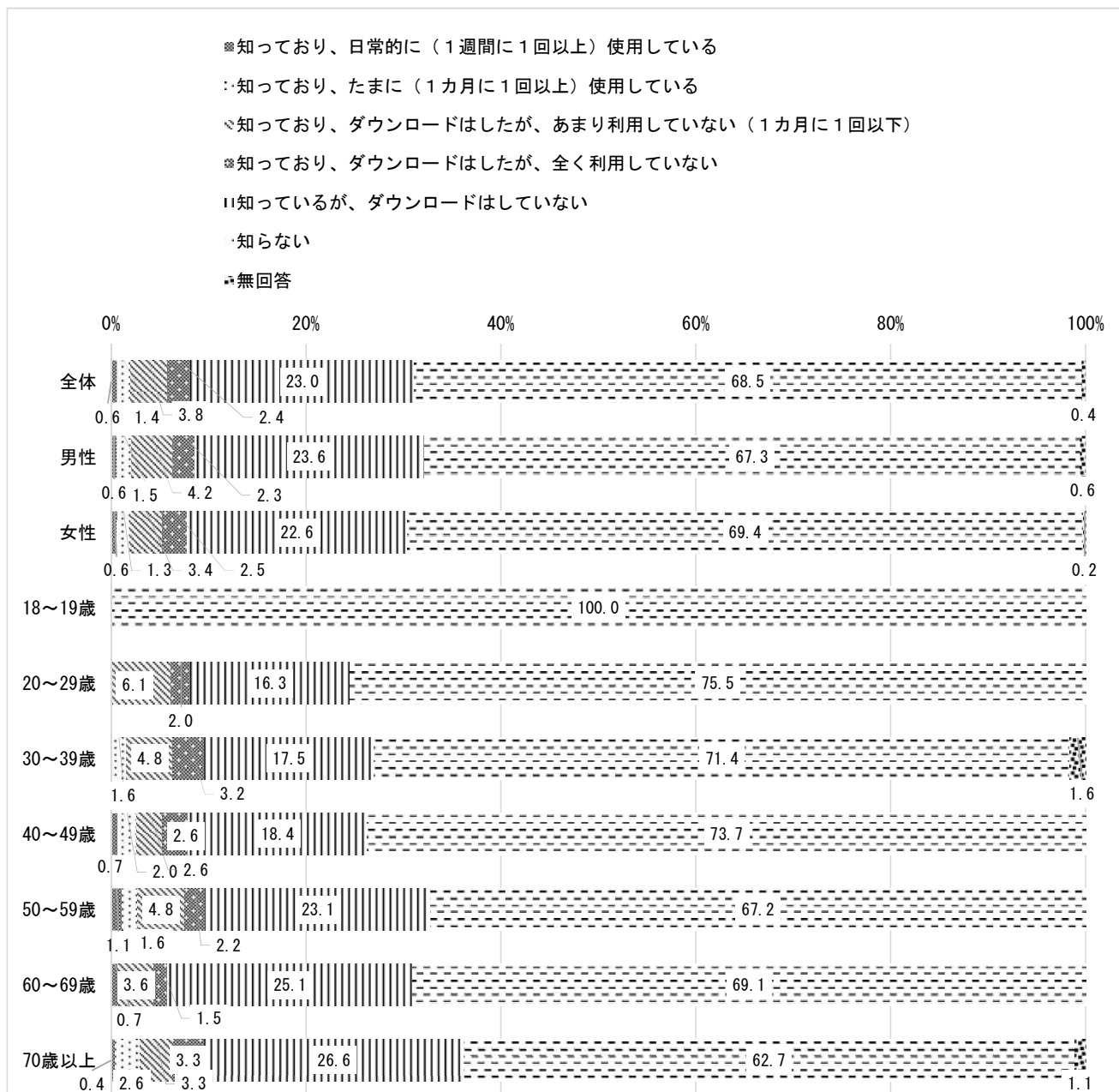
# 《長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」について》

＜「信州ナビ」の認知度・利用頻度＞  
 「信州ナビ」を知っている人は全体の約3割

問9 「信州ナビ」を知っていますか。また、ご活用いただいていますか。(〇は1つ)

	n=1,006	
	回答数(人)	割合(%)
① 知っており、日常的に(1週間に1回以上)使用している	6	0.6
② 知っており、たまに(1カ月に1回以上)使用している	14	1.4
③ 知っており、ダウンロードはしたが、あまり利用していない(1カ月に1回以下)	38	3.8
④ 知っており、ダウンロードはしたが、全く利用していない	24	2.4
⑤ 知っているが、ダウンロードはしていない	231	23.0
⑥ 知らない	689	68.5
⑦ 無回答	4	0.4

●「知らない」が68.5%と最も高くなっている。年代別に見ると、「知っており、日常的に使用している」が0%から1%程度となっている。

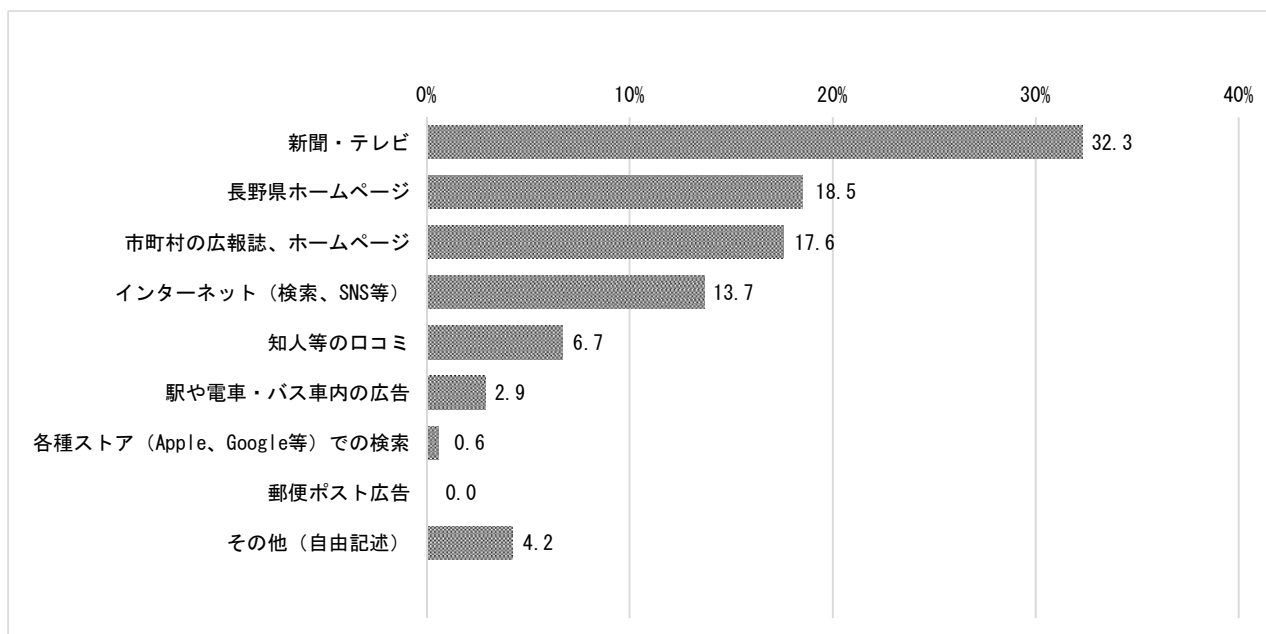


＜「信州ナビ」を知った媒体＞  
「新聞・テレビ」で知った方が約3割

問10 問9で①～⑤を選んだ方にお聞きします。信州ナビをどこで知りましたか。(〇は1つ)

	n= 313	回答数 (人)	割合 (%)
新聞・テレビ		101	32.3
長野県ホームページ		58	18.5
市町村の広報誌、ホームページ		55	17.6
インターネット(検索、SNS等)		43	13.7
知人等の口コミ		21	6.7
駅や電車・バス車内の広告		9	2.9
各種ストア(Apple、Google等)での検索		2	0.6
郵便ポスト広告		0	0.0
その他(自由記述)		13	4.2
無回答		11	3.5

●「新聞・テレビ」が約3割、「長野県ホームページ」と「市町村の広報誌、ホームページ」がいずれも約2割となっている。



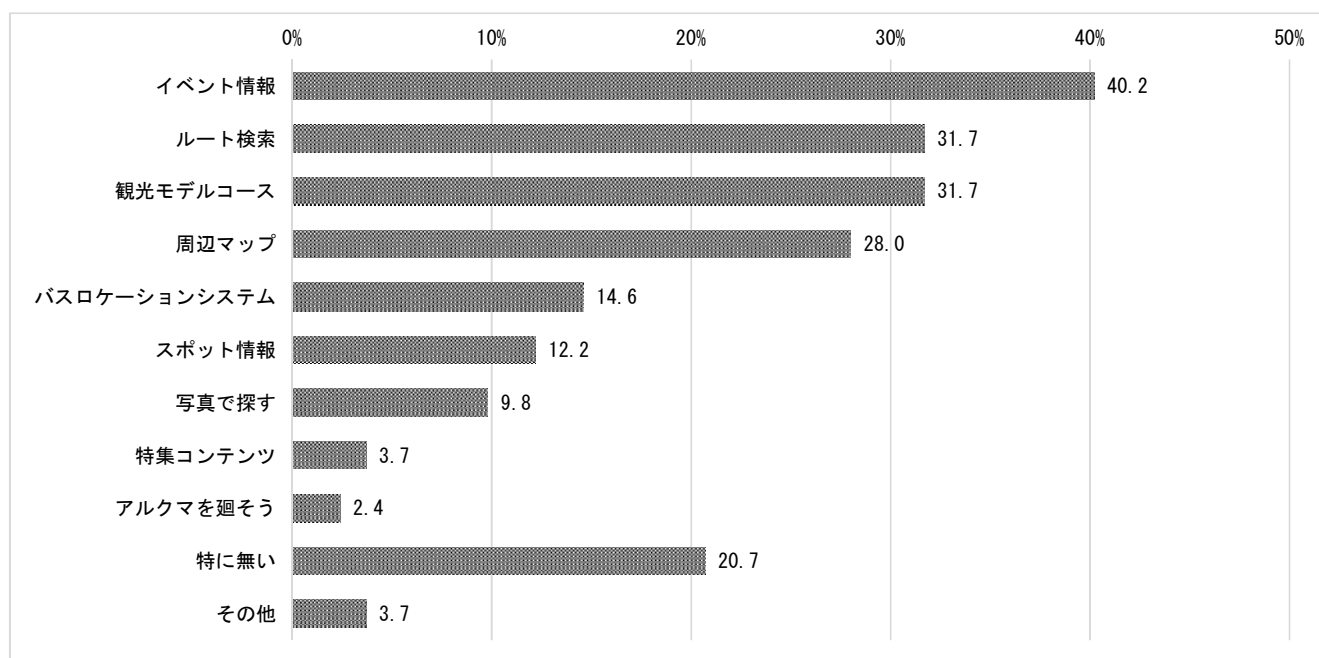
その他としては、「この調査(県政モニターアンケート)でナビを知った」、「チラシやポスターで知った」等の回答が見られた。

＜「信州ナビ」で便利だと思う機能＞  
 「イベント情報」が4割、次いで「ルート検索」と「観光モデルコース」がいずれも約3割となっている。

問11 問9で①～④を選んだ方にお聞きします。信州ナビの機能のうち、特に便利だと思う機能は何ですか。(〇は3つまで)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 82		
イベント情報	33	40.2
ルート検索	26	31.7
観光モデルコース	26	31.7
周辺マップ	23	28.0
バスロケーションシステム	12	14.6
スポット情報	10	12.2
写真で探す	8	9.8
特集コンテンツ	3	3.7
アルクマを廻そう	2	2.4
特に無い	17	20.7
その他(自由記述)	3	3.7
無回答	2	2.4

●「イベント情報」が4割、「ルート検索」と「観光モデルコース」がいずれも約3割となった。一方で「特にない」も約2割いた。



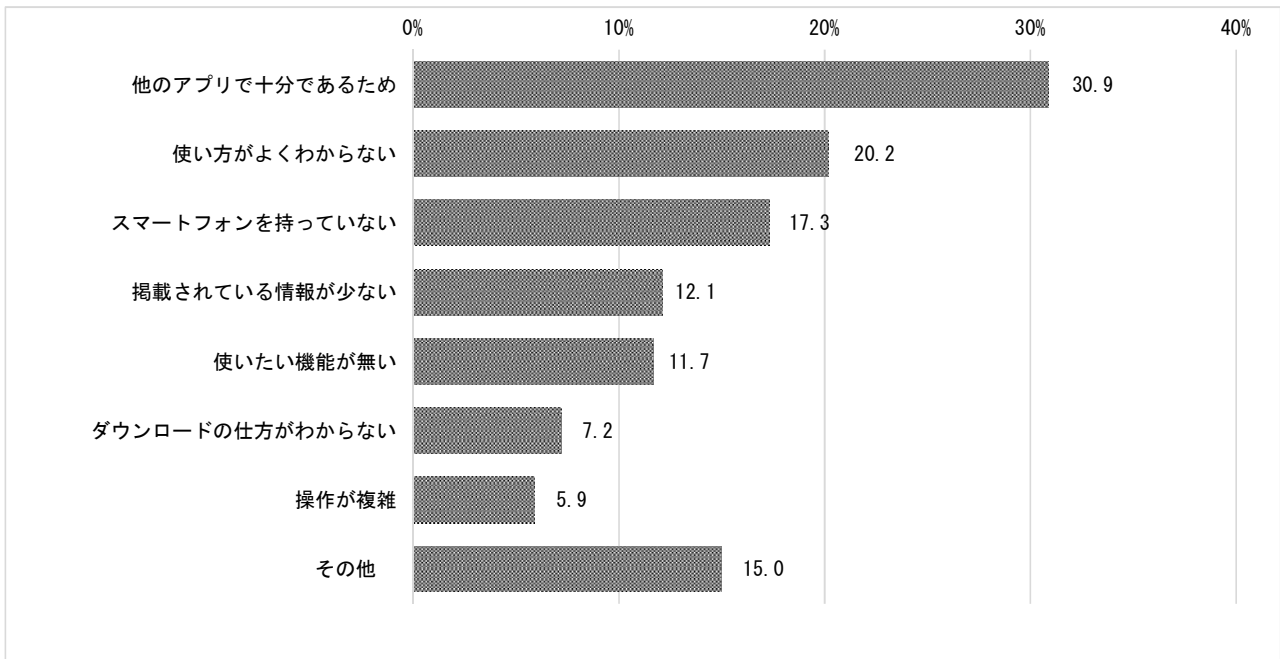
その他としては、「バスの乗り方がほしい」、「バスロケーションを活用したかったが、実用的でなかったので、すぐにアンインストールした」等の回答が見られた。

＜「信州ナビ」が日常的に利用されない理由＞  
 「他のアプリで十分であるため」が約3割、「使い方がわからない」が約2割

問12 問9で②～⑤を選んだ方にお聞きます。信州ナビを日常的に利用されない理由は何ですか。(〇は3つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 307		
他のアプリで十分であるため	95	30.9
使い方がよくわからない	62	20.2
スマートフォンを持っていない	53	17.3
掲載されている情報が少ない	37	12.1
使いたい機能が無い	36	11.7
ダウンロードの仕方がわからない	22	7.2
操作が複雑	18	5.9
その他(自由記述)	46	15.0
無回答	6	2.0

●「他のアプリで十分であるため」が30.9%と最も多く、「使い方がよくわからない」(20.2%)と「スマートフォンを持っていない」(17.3%)がそれに続いた。



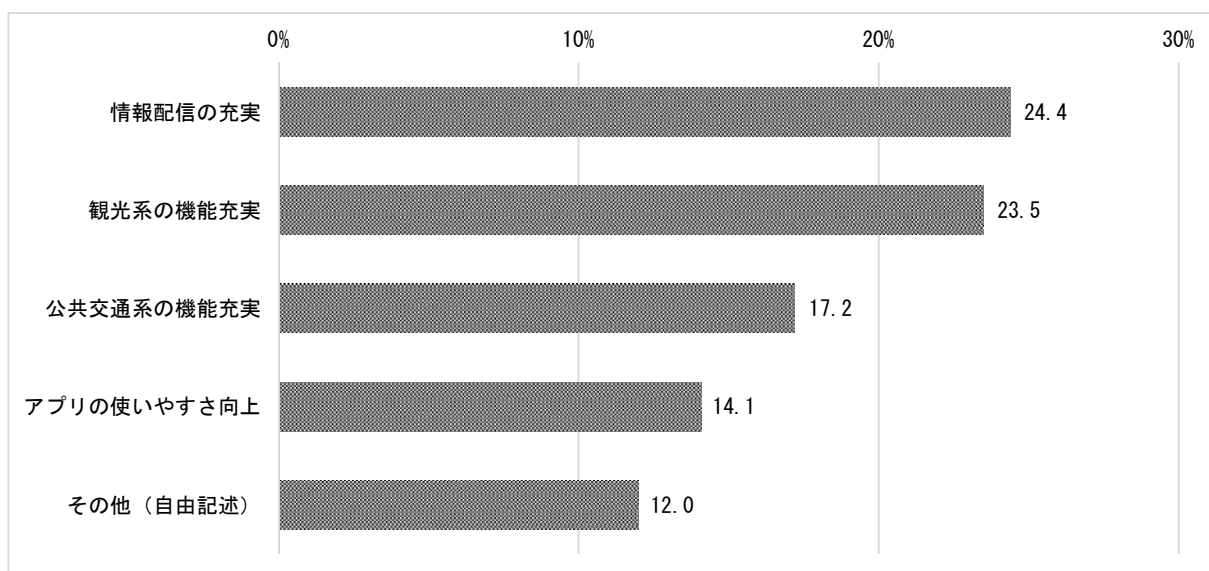
その他としては、「情報が古い(遅い)」、「動作が重すぎる。wi-fi環境でも閲覧するのに時間がかかる。リニューアルされて今まで以上に使いづらい。」、「使いたい機能が実用的でなかった。使い難いと思った。」等の回答が見られた。

＜「信州ナビ」の今後の方向性＞  
 「情報配信の充実」、「観光系の機能充実」がいずれも2割超。

問13 「信州ナビ」は今後も機能の充実や改善を図っていく予定ですが、改善の方向性として最も良いと思うものは以下のうちどれですか。(○は1つ)

	回答数 (人)	割合 (%)
n= 1,006		
情報配信の充実(イベント情報配信増、居住地ごと適切なプッシュ通知の配信等)	245	24.4
観光系の機能充実(観光スポット情報増、「写真で探す」の写真数増等)	236	23.5
公共交通系の機能充実(バスロケーションシステム利用エリア拡大等)	173	17.2
アプリの使いやすさ向上(ガイドンス機能の追加、デザインの改善等)	142	14.1
その他(自由記述)	121	12.0
無回答	89	8.8

●「情報配信の充実」(24.4%)が最も多く、次に「観光系の機能充実」(23.5%)、「公共交通系の機能充実」(17.2%)となっている。



その他としては、「信州ナビならではのサービスの定期的な改善と、内容を県民の皆さんに広く知ってもらうための広報活動の改善により、長野県民同志のつながりが強化できればと思います。」、「口コミや点数表など、ランキングが出来るのならお願いしたい。もしくは、おすすめ、子供も参加できる等の情報を追加してほしい。」等の回答が見られた。